

～ ツキノワグマとキツネの頭がい骨を比べて ～

クマやキツネは、哺乳類の中では「ネコ目（食肉目）」という同じグループの仲間です。このグループの中で、クマは「クマ科」、キツネは「犬科」という、さらに細かいグループに分かれます。

どちらも、鋭く長い犬歯（牙）が上下から伸びています。でも、奥歯をよく見て、比べてみてください。

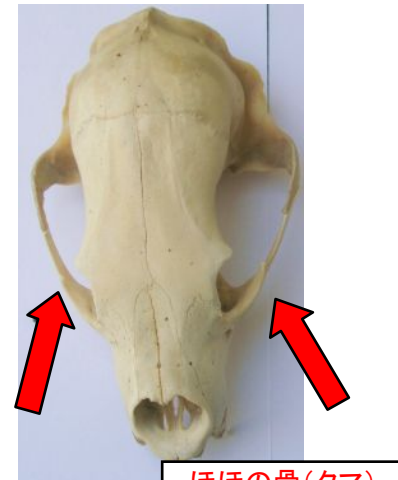
キツネの奥歯は、鋭い形をしています。これは、他の動物を捕まえて肉を食べるには、鋭い形の歯が便利だからです。ネコ目のグループの動物のほとんどは、このような鋭い奥歯を持っています。

一方、ネコ目なのに、クマの奥歯は人と同じように平らな形をしています。クマの奥歯が平らなのは、固いドングリを何度もよくかんですりつぶして食べるのに便利だからです。

クマが、キツネのように動物を捕まえて食べる「肉食」ではなく、主にドングリや昆虫、山菜などを中心に食べる「雑食」として進化をしてきた動物ということが、この歯の形からわかります。普段は森の奥で静かにドングリや山菜を探して食べ、人に気づくとあわてて隠れたり逃げたりする、そんな動物なのです。

また、クマの頭がい骨の特徴は、ほほの骨（頬骨弓）が大きく張り出していること。これで顎の筋肉をたくさんつけることができ、とても強い力でかむことができます。

ツキノワグマは本来、とても臆病な動物です。恐ろしい猛獣ではありません。でも、人に大ケガをさせることだってできる力を持つ動物です。山を歩く時は、正しい知識と注意が大切です。



ほほの骨(クマ)

クマの奥歯(左)とキツネの奥歯(右)